

「ユビキタス街角見守りロボットモデル事業」が近畿総合通信局長から表彰されました。
(6月2日)

平成19年度総務省の委託事業とし産学公民協働による「ユビキタス街角見守りロボットモデル事業推進協議会（代表機関：財団法人大阪市都市工学情報センター）」が展開してきました子どもが身に付けるICタグによる校門・見守り地点の通過および緊急時の通報により、地域のボランティアがかけつけて子どもの安全を守る『ユビキタス街角見守りロボットモデル事業』がこのたび平成20年度「電波の日・情報通信月間」にあたり、6月2日の記念式典において、情報通信の発展に貢献したとして近畿総合通信局長から表彰を受けました。

【団体】 ユビキタス街角見守りロボット事業推進協議会 設
会長 千坂 佳克氏 (大阪市立中央小学校校長)



●功績概要●
ICTを積極的に活用し、登下校情報などを保護者や地域ボランティアに通報する児童見守りシステムを産学公民の連携により構築し、安心安全な地域社会の実現に多大な貢献をされました。

●受賞のことは●
携帯電話、パソコンを使い児童の登下校の確認、緊急支援通報のできるシステムが受賞の榮譽を受け、協議会一同感謝でいっぱいです。今後一層の改善を図っていく所存です。

